

南あわじ市 平成 23 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

基本事項

		整理番号		253	
事業名	遺族会補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	健康福祉部 福祉課			款	民生費・3款
電話	0799-44-3002			項	社会福祉費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	社会福祉総務費・1目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		人づくり_知恵あふれ_郷土愛が満ちるまちづくり__		
	まちづくりの目標		大好き_ふるさと南あわじ[郷土愛]		
	施策目標		地域の歴史を学び、祭や伝統文化に親しみ、語り継ぐことのできる市民を育てる		

Plan & Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

団体の概要	団体の活動目的	(対象者をどのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 戦争犠牲者を共に慰め、遺族同士が互いに支え合い、戦争体験を継承していくことにより、命や平和の大切さを伝承していく。				
	団体の活動内容	(主な事業、具体的な活動内容等) ・戦没者追悼式典共催及び各分会において、忠魂碑の清掃や慰霊祭の開催。 ・戦没者遺族の援護相談等。				
	団体の概要	(どのような人が団体の構成員となっているか、構成員の内訳等)				
		・戦没者の遺族。 ・市遺族会組織及び市内19分会で活動。	構成員人数(人) 1,371			
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位	()	
				<input type="checkbox"/> 旧町単位	()	
				<input type="checkbox"/> 旧村単位	()	
補助金算出根拠	会議費250千円・事業費2,720千円(戦没者追悼式、慰問、研修等経費)					
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 遺族会活動事業経費として調整を行った。					

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050
	遺族会補助金	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050
	事務局事務費(市が事務局の場合)					
	財 源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050
	人件費(正規職員)[B] (千円)	837	846	822	804	804
	平均人件費(1日当り)	27.9	28.2	27.4	26.8	26.8
	事業量1(事業に要した日数)	30	30	30	30	30
	事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1	1
	年間経費([A]+[B])	2,887	2,896	2,872	2,854	2,854
	「目的」対象人数1人当り経費 (円)	-	-	-	-	-
経費に関する 補足説明	平成22年度まで決算額。平成23～24年度は当初予算額。					

Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 遺族の高齢化が進む中、事業内容から、戦没者の追悼、遺族への相談事業等適切である。				自己評価 (5点評価)
					4
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 戦没者遺族の援護事業として有効であり、遺族の高齢化が進む中、会の貢献度は高い。また、ともに支え合う地域福祉社会の実現を図るために重要な役割を担っています。戦争を後世に伝えとともに、平和への願いを込めて、戦争被害者を支援していく必要がある。				
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 会員の高齢化が進む中、恒久平和を願う団体として組織強化を行っており、市として援助することは適当であると考えます。				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">評価グラフ</p> <p style="text-align: center;">費用対効果 必要性</p> </div>

Action & Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成24年度にできる改善・改革	平成25年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>戦没者の遺族は減少しているが、団体の目的としては今後も必要である。また、遺族の高齢化が進んでいることを考慮し、今後の活動を検討していく必要がある。</p>	<p>遺族の高齢化が進み、会員が大幅に減少し、分会での活動が困難となった場合、事業内容の見直しが必要。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)		
(現状維持の場合も記入)	仮に 補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 南あわじ市内の戦争犠牲者の遺族として活動しており、市の援護体制が問われる。各分会での活動経費が無くなり、運営不能となる可能性が大きい。	